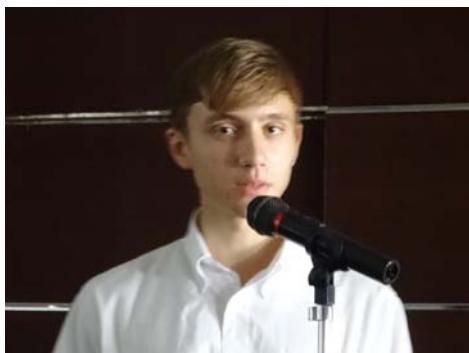






## 「自國（チェコ）紹介と留学体験」



青少年交換留学生

イジー・ハルトウヴィツフ 君

### チェコと日本での留学生活について

#### 1. チェコについて

##### ・歴史

チェコは9世紀に創立され、14、15世紀に黃金時代を迎えるました。

カール4世統治時にプラハが神聖ローマ帝国の首都になりました。

第一次世界大戦が終わってチェコ・スロバキアが独立しましたが1938年にドイツに占領されたが、第二次世界大戦後にロシアの影響で共産主義国家になりました。1989年にビロード革命が起こり、1993年に再びチェコは独立を果たしました。今年の4月から英語の国名をチェキアと呼ぶようになりました驚いています。

##### ・観光地

チェコと言えばプラハが有名ですが、次の3箇所もとても綺麗でお薦めです。

- ① 「チェスキークルムロフ」 眠れる森の美女と呼ばれる美しい街で世界遺産です。
- ② 「ブドヴァイゼルブドヴァル」 世界で有名なビールのバドバイザー発祥の地です。実はチェコは一人あたりのビールの消費量が世界で一番多いです。
- ③ 「アドルシュバフ」 東ボヘミア地方の岩石都市です。

#### 2. 僕と家族について

##### ・僕のこと

南ボヘミア州ビーセク出身で1999年生まれの高校生です。

何故、日本に留学を希望したかというと小さい時から好奇心旺盛で未知の日本にチャレンジしたかったからです。

##### ・家族について

父はIBM のIT関係のコンサルタントでロンドンに勤務し、週末にチェコに帰ってきます。母はPISEKにある小学校の先生です。兄はプラハにある

経済大学に通っています。僕の留学を応援してくれた家族にとても感謝しています。

### 3. 日本について

#### ・来日しての思い出

来日する前、日本のイメージは先進国の一で電車が混雑していてもダイヤが遅れなかつたり、沢山の古い建物がある一方、超高層ビルが建ち、日本人は毎日、お寿司を食べていると思っていました。

日本に来て驚いたことは品物が沢山あることで、特に食べ物の種類が豊富でどれも美味しかったです。ただ、毎日、お寿司は食べていませんでした。

来日して3ヶ月位の時は簡単な会話は出来ましたが、言いたいことが言えずイライラしていましたが、6ヶ月位経つと大分会話ができるようになりました、日本での生活を楽しめるようになりました。

12月からゴルフの練習を始めましたが、帰国してもやりたいと思っています。3月には、ホストファミリーの斎藤さんに北海道に連れて行ってもらいました。天気が良く景色が綺麗でした。

沖縄にも行きました。その後、交換留学生達と9日間のジャパンツアーで関西に旅行しました。僕が一番、心に残ったのは原爆ドームです。

写真では見ていましたが、本物を見て原爆のすごさに驚きました。

5月にホストファミリーの貫井さんに四国に連れて行ってもらい、初めて讃岐うどんを食べました。とても美味しかったです。

帰ってきて、カウンセラーの高木さんに三社祭に案内してもらい、初めて御神輿を見ました、すごく沢山の人がいてびっくりしました。

この10ヶ月で色々なことを知りました。世界中の何処にでも有ってもらいたいほど、日本食が好きになりました。毎朝、起きて電車に乗って通学し、お弁当を食べられるのは有難いと思っています。そして、何よりも家の帰って「ただいま」と言うと「お帰り」と言って迎えてくれることが一番、嬉しいです。

#### ・残り滞在期間の過ごし方と将来について

日本での生活も残り2ヶ月となりました。

7月には日本語能力試験2級を受けるので、合格できるよう勉強します。出来れば、行ったことが無い所に行ってみたいです。日本の新聞とか雑誌の内容が分かるようになりたいです。この季節の果物を食べてみたいですね。

チェコに帰ってから、2年間高校で勉強します。その後、日本の大学に入学できたら良いと思っています。そうなったら、また、皆さんと会いたいです。